

令和2年4月10日
健康福祉局地域福祉保健部地域支援課

「令和2年度 地域包括支援センター職員研修業務委託契約」契約結果

令和2年度 地域包括支援センター職員研修業務委託契約について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

1 件名

令和2年度 地域包括支援センター職員研修業務委託

2 委託内容

地域包括支援センターに勤務する職員を対象に、個別・地域の課題解決、ネットワーク構築に関する知識・技術の習得等、ケースワーク・コーディネート力を高めるための研修の実施

(1) コース研修（基礎編・応用編） (2) 研修実績の報告

3 契約の相手方

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

4 契約金額

4,004,000円

5 契約日

令和2年4月1日

6 評価結果

提案者	評価点数	順位
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	724	1
株式会社ツクイスタッフ	530	—

7 評価基準・評価委員会開催経過等

評価委員会開催日時	令和2年1月16日 午後2時～午後4時15分
評価委員会開催場所	横浜市技能文化会館5階
評価委員出席状況	5人中5人出席
評価基準	別紙のとおり

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

受託者の決定にあたっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を受託者とします。

2 評価点

提案書及びヒアリングの内容を評価し、評価点を与えます。
評価委員一人あたりの評価点の満点は188点とします。

3 評価点の最も高い者が2以上あるときの対応

評価項目1（表1参照）の評価点が最も高い者を受託者として決定します。評価項目1の評価点も同点である場合は、評価項目1のうちの(3)の評価点の評価点が高い者を、(3)も同点である場合は(2)の評価点が高い者を受託者として決定します。

4 ヒアリングを欠席した評価委員の評価点の取扱

評価委員がヒアリングを欠席した場合、その評価委員の評価点は無効とします。

5 評価方法

(1) 項目1, 2, 3（表1参照）について

ア 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行います。

イ 評価は各項目5点満点とし、A=5点、B=3点、C=0点とします。

例えば、表1において配点10点の項目の場合は

評価がAであれば評価点は $10 \times 5 / 5 = 10$ 点

評価がBであれば評価点は $10 \times 3 / 5 = 6$ 点

評価がCであれば評価点は $10 \times 0 / 5 = 0$ 点

ウ 業務内容により、5段階評価とすることも可とします。この場合A Bの中間をA'、B Cの中間をB' とし、各々4点、2点とするものとします。

エ 各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

《点数早見表》

	A	A'	B	B'	C
40	40点	32点	24点	16点	0点
30	30点	24点	18点	12点	0点
20	20点	16点	12点	8点	0点
10	10点	8点	6点	4点	0点

(2) 項目4（表1参照）について

ア A、Bの2段階評価を行います。

イ 評価は各項目1点満点とし、A=1点、B=0点とします。

ウ 各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

(3) 項目5（表1参照）について

ア A、Bの2段階評価を行います。

イ 評価は4点満点とし、A=4点、B=0点とします。

ウ 評価の視点は表2のとおりとします。

6 失格事項

いずれかの評価項目の評価点が0となったもの（項目1, 2, 3のみ）、または、評価委員の持ち点の合計の60%を基準点とし（評価委員5人がヒアリングに出席した場合の満点は940点、基準点は564点）、基準点に達しないものとします。

7 その他

すべての評価項目を絶対評価により採点します。

表1 基本的評価事項

評価項目 (最高配点)	評価の着目点	配点	評価	評価の 換算式	評価 点
(例)	(1) 全国的な福祉情勢・政策・制度等に精通しているか。	20	B	$20 \times 3/5$	12
1 研修実施 にあたって 情勢・政策等 への知識・理 解 (最高80点)	(1) 全国的な福祉情勢・政策・制度等に精通しているか。 ア 高齢者福祉に精通しているか。(特に、平成30年度 介護保険法改正に係る国の考えや全国的な動向の情 報を把握しているか)。 イ 地域福祉に精通しているか。子育て・障害児者等各 福祉分野全般における知識があるか。	20			
	(2) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、地域福祉 保健計画をはじめとした、横浜市の福祉保健関連の各行 政計画を理解しているか。 横浜市における高齢者支援・地域支援の実際に精通し ているか。	30			
	(3) 地域ケアプラザについて、概要、部門ごとの業務内容 に精通しているか。 横浜市独自の地域ケアプラザの強みを活かした支援 を地域ケアプラザ(地域包括支援センター)の職員に提 案できるか。	30			
2 企画研修 に対する評 価 (最高40点)	各コースの内容・目的に適したカリキュラムを企画して いるか。また、内容・目的に適した予定講師を選定でき ているか。	40			
3 応募者の実 績・経験・実践 力等について (最高60点)	(1) 類似分野の研修または事業・計画等への関与の実績件 数(過去5年間)	20			
	(2) 取組意欲	10			
	(3) 予定担当者の実務経験、専門分野の内容及び調整・訴 求能力	20			
	(4) 応募者の手持ち業務の件数・内容	10			
4 ワークラ イフバラン スに関する 取組 (最高4点)	(1) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動 計画の策定	1			
	(2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に 基づく一般事業主行動計画の策定	1			
	(3) 次世代育成支援対策推進法による認定の取得(くるみ んマーク、プラチナくるみんマーク)、女性の職業生活 における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、 又は、よこはまグッドバランス賞の認定の取得	1			
	(4) 青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進 法)に基づくユースエール認定の取得	1			
5 障害者雇 用に関する 取組 (最高4点)	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.2%を達成し ているか。	4			
評点の合計(最高188点)					

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	A	B	C	備考
1 研修実施にあたって情勢・政策等への知識・理解 (最高80点)	(1) 全国的な福祉情勢・政策・制度等に精通しているか。 ア 高齢者福祉（特に、平成30年度介護保険法改正に係る国の考えや全国的な動向の情報を把握しているか）。 イ 地域福祉に精通しているか。子育て・障害児者等各福祉分野全般における知識があるか。	非常に精通している	一定の理解がある	理解がない	
	(2) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、地域福祉保健計画をはじめとした、横浜市の福祉保健関連の各行政計画を理解しているか。 横浜市における高齢者支援・地域支援の実際に精通しているか。	非常に精通している	一定の理解がある	理解がない	A評価例：課題ごとの連携・協働例を的確にイメージできている
	(3) 地域ケアプラザについて、概要、部門ごとの業務内容に精通しているか。 横浜市独自の地域ケアプラザの強みを活かした支援を地域ケアプラザ（地域包括支援センター）の職員に提案できるか	豊富な内容を提案できている	一定程度提案できている	不適当な企画を提案している	A評価例：地域支援と個別支援の連携について、具体性の高い提案となっている
2 企画研修に対する評価 (最高40点)	各コースの内容・目的に適したカリキュラムを企画しているか。また、内容・目的に適した予定講師を選定できているか。	充実した企画を提案できている	一定程度適した企画を提案できている	不適当な企画を提案している	※講師に対する評価ではなく、到達目標・ねらいに対して専門分野が的確な講師を選定しているか、という観点で評価
3 応募者の実績等について (最高60点)	(1) 類似分野の研修または事業・計画等への関与の実績件数（過去5年間） ※通年研修は単発研修3回分に換算する	10回以上	1回以上	実績なし	
	(2) 取組意欲	非常に意欲がある	意欲がある	ない	
	(3) 予定担当者の実務経験、専門分野の内容及び調整・訴求能力	地域、高齢者支援分野において専門職としての実務経験がある予定担当者が配置されている（2名以上）	地域、高齢者支援分野において専門職としての実務経験がある予定担当者が配置されている（1名以上）	配置がない	A評価例：各区、法人、施設、部門間で異なる意見に対し、一定の方向性が見出せるよう調整し、全体に対して提示していく訴求力がある。
	(4) 応募者の手持ち業務の件数・内容	履行に全く問題ない	履行に概ね問題はない	履行できない	

4 ワークライフ バランス に関する取 組 (最高4点)	(1) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定	策定し、労働局に届出ている(従業員 101 人未満の場合のみ加算)	策定していない、又は策定しているが従業員 101 人以上	—	
	(2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定	策定し、労働局に届出ている(従業員 301 人未満の場合のみ加算)	策定していない、又は策定しているが従業員 301 人以上	—	
	(3) 次世代育成支援対策推進法による認定の取得(くるみんマーク、プラチナくるみんマーク)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、よこはまグッドバランス賞の認定の取得	取得している、または認定されている	取得していない、又は認定されていない	—	
	(4) 青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進法)に基づくユースエール認定の取得	認定されている	認定されていない	—	
5 障害者雇用 に関する取 組 (最高4点)	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.2%を達成しているか。	達成している(従業員 45.5 人以上)、または障害者を 1 人以上雇用している(従業員 45.5 人未満)	達成していない(従業員 45.5 人以上)、または障害者を 1 人以上雇用していない(従業員 45.5 人未満)	—	